生き生き写真展

Photo exhibition of people with Down Syndrome

期間 令和7年1月11日~1月20日 会場 はつかいち・宮島情報センター









我が子と初めての出会いから今まで、親は色々な気持ちを抱きながら、育ててきました。 嬉しい、楽しいがいっぱいでした。生まれて直ぐは悲しい涙を流したこともあります。そして、 時々不安を抱きました。でも、我が子の笑顔と周りの人々の優しさに、元気づけられて、今 まで過ごしてきました。今の世の中、「我が子にはダウン症があります」と伝えると、「たい へんね!」「苦労されますね」などと言われることもあります。でも、我が子たちとの生活は 思いのほか、笑顔があり、幸せを感じています。この写真展を見て、「あら、案外幸せそ う!そりゃあそ~よね。人は誰でも苦しい時も、あるし、幸せな時もありよね~」と思ってい ただけたら嬉しいです。

Since we, parents, held our new born babies in our arms for the first time, we have been with them with many kinds of feeling. Sometimes happy. Sometimes sad. But there are many warm people around us. Even though, when we say "I am a parent of a child with Down's syndrome," there are some who would say, "Oh, poor!" "You will have a hard time in your future."

We hope that after you see this photo exhibition, you will be able to say, "That's right. Everyone has a good time and hard time in the life."







